

矢野 隆さん

【初めに】

二次受験4回目、ついに二次試験を突破することができました。

最初の一次試験を1点差で落として以来、毎回あと一歩及ばない状況が続いていました。

4回目を最後のチャレンジと決め、最後の1年をMMCに託しました。

MMCの授業は本当に目から鱗でした。

正解が発表されない二次試験は、間違っただけの勉強方法をしていても自分では気がつきにくく、努力がかえって仇となってしまうこともあります。

MMCの授業のおかげで、自分自身の勉強方法を見直すことができ、模試の得点も安定し、無事合格する事ができました。

【中小企業診断士を受験した動機】

診断士を志した当時、私は通信事業者で携帯コンテンツ関連の業務を担当しておりました。

ガラケーからスマホに急激に変わっていく中で、コンテンツプロバイダーの取引先からアドバイスを求められても、

経験則が成り立たなくなっていました。

もっと普遍的なコンサルティングスキルを身につけたいと思い、診断士の受験を決めました。

【受験年度】

2011年 大手資格学校（通信） 一次試験：不合格（科目合格：財務、企業、運営、情報）

2012年 大手資格学校（通学） 一次試験：合格（科目合格：経済、法務、中小）

2012年 大手資格学校（通学） 二次試験：不合格C（BBBD）

2013年 大手資格学校（通学） 二次試験：不合格B（AAAC）

2014年 独学（中小のみ通信） 一次試験：合格（458点）

2014年 大手資格学校（通学） 二次試験：不合格B（CAAB）

2015年 MMC（通学） 二次試験：合格（AAAA） ※得点開示請求による

【一次試験対策の学習方法】

2011年：不合格

- ・大手資格学校のテキストをベースに、要点をまとめたノートを作成しました。
- ・過去問は、企業、運営、情報は電車の中で、他科目は早朝に自宅や喫茶店で勉強しました。

○Good：まとめノートを作ったことで、通勤中の学習が楽になりました。

（2014年の一次再受験の際は、テキストはほぼ使わずノートの復習で済みました。）

- Bad：苦手な経済、法務、中小は、授業やテキストの復習に時間をかけすぎてしまいました。

過去問に着手するタイミングが遅れ、準備不足のまま本番に突入。

結果、本番では419点と1点足らずに不合格となってしまいました。

2012年：合格（経済、法務、中小）

- ・ 苦手科目だけで平均 60 点以上取る必要があった為、1 次突破に集中して勉強することになりました。
 - ・ 全体像をつかむため、経済学と会社法の市販の本をざっと一読しました。
 - ・ 中小は、大手資格学校のテキストだけに頼らず、中小企業白書を購入し、一読しました。
 - ・ 過去問は 5 年分を 5 回繰り返しました。中小は過去問をやらず、学校の答練を復習しました。
- Good：中小企業白書を一読したことで、理解が深まり得意科目にすることができました（本番では 81 点）。また、昨年の反省を生かして過去問中心の勉強を行い、「習うより慣れろ」で無事突破できました。法学部出身なのに、経営法務には最後まで手こずってしまいました。。。

2014年：合格（7科目再受験）

- ・ GW 前までは二次対策のみ勉強し、GW から 1 次対策に集中しました。
 - ・ 中小のみ大手資格学校の通信講座を受け、他 6 科目は独学にしました。
 - ・ 中小は、中小企業白書を購入し、一読しました。
 - ・ 過去問は 5 年分を 5 回転。忘れた箇所はノートを見直しました。
- Good：GW から割り切って二次対策を中止し一次対策に集中したこと、過去問中心の勉強に徹したことが功を奏しました。7 科目が全部戻ってきたことは大変なプレッシャーでした。しかし、いざ始めてみると 1 回目の受験時と比べて短期間で合格レベルまで持っていくことができました。

【二次試験対策の学習方法】

2012年：不合格（BBBD）

- ・ 大手資格学校の授業と答練中心の勉強
- Bad：一次試験に集中し、一次試験合格後は燃え尽きてしまいました。
過去問すら十分にこなせないまま本試験に突入し、惨敗でした。

2013年：不合格（AAAC）

- ・ 大手資格学校、及び仲間とのグループ学習を週 2 回ペースでやりました。
- ・ 過去問(13 年以降)の主要論点をエクセルにまとめ、解答案をグループ討議でブラッシュアップしました。
- ・ 過去問を解くにはまとまった時間が必要な為、早朝や休日を中心に取り組みました。
- ・ 明確な解答が発表されない試験であるため、各資格学校の解答や勉強仲間の解答を見比べながら、常に正解を模索していました。

○Good：過去問を繰り返したことで二次試験の概要を把握でき、また、解答作成のタイムマネジメントが安定しました。

●Bad：

- ・ 事例Ⅳの苦手意識が強く、事例Ⅰ～Ⅲで高得点を出すことばかりを考えていました。

そのため、まだ見ぬ「本当の正解」を追求することに大きく時間を割いてしまいました。
(今思うと、合格の為には不要な作業でした。)

- ・事例Ⅳは過去問に偏った勉強の為、後半は分かったような気になっていましたが、実際は基礎的な理解が欠けていました。

本試験では、事例Ⅳで混乱してしまい、ケアレスミスが原因で大きく失点、不合格となりました。

2014年：不合格 (CAAB)

- ・大手資格学校(同じ学校の別教室に変更)、学校主催のグループ学習に週1回参加しました。
- ・設問分析から対応づけまでのプロセスの標準化に注力し、練習を繰り返しました。
- ・事例Ⅳは、学校の計算問題集を繰り返し解きました。

○Good：解答までのプロセスが標準化できたことで、タイムマネジメントがより安定し、設問の読み取りミスも減りました。

事例Ⅳは同じ問題集を繰り返すことで、計算力が安定してきました。

●Bad：相変わらず事例Ⅰ～Ⅲで高得点を出すことばかりを考えていました。

また、前年度の事例Ⅰ～ⅢがA評価だった為に変な自信がついていました。

その為、徐々に解答が独り善がりになり、模試の得点も不安定になっていきました。

本番では、得意だったはずの事例Ⅰで大きく方向性を外し、不合格となりました。

2015年：合格 (AAAA)

- ・最後のチャレンジの年と決め、模試で印象が良かったMMCの通学講座に託すことにしました。
- ・MMCのメソッド習得に集中し、グループ学習は行いませんでした。
- ・GWまではMMC答練の復習を中心に言い、GW後からはMMCメソッドを意識しながら過去問を解きました。
- ・事例Ⅳは、MMCのGW特別講座でもらった計算問題集を繰り返し解きました。
- ・早朝や休日に過去問に取り組みました。通勤中はMMCキーワードの暗記や過去問解答を読み、昼休みに事例Ⅳの計算問題集を解きました。
- ・解答フレームや読みやすさを常に意識して、解答作成に取り組みました。

○Good：

- ・MMCのフレームワークは、目から鱗でした。また、過去の自分の勉強方法の失敗を振り返るきっかけにもなりました。
- ・大手資格学校ではマス教育の限界があり、一人一人の解答内容への指導までは手が回らず、文章は個人任せになってしまいます。MMCでは、最終的なアウトプットである解答そのものに対しての個人面談が毎回あります。また、採点基準も明確でした。その為、書く技術の向上や自分の成長度がわかりやすく、安心して勉強に取り組むことができました。
- ・最も印象的だった授業は、全員の答案を採点する実習です。採点者側の気持ちに立つことで、読みやすく整理された答案を書くことがいかに重要な要素か、理解することができました。以降、詰め込みすぎ答案をやめ、読みやすさを意識する事にしました。

- ・事例Ⅳは、MMCの頻出論点に絞った演習のおかげで基礎力が高まりました。次第にMMCや他社の模試などでも上位に入るようになりました。
- ・全体のタイムマネジメントや、設問分析から対応付けまでのプロセスは、昨年度までの学習でほぼ標準化できていました。MMCの授業のおかげで、解答の方向性の導き出し方や解答を記述まで、すべての解答プロセスを標準化することができました。そのため、模試でも本番でも常に安定した気持ちで取り組むことができるようになりました。

【最後に】

5年間の総勉強時間は、約3,000時間でした。

勉強開始時はまだ幼かった息子達も、今ではすっかり少年になっています。

貴重な時間を自分の勉強に割かせていただき、家族には感謝しています。

また、勉強仲間にも助けていただきました。

そして最終的に合格まで導いていただいたのはMMCのおかげです。本当にありがとうございました。MMCがなければ、自分の努力の方向性のズレに最後まで気がつかなかったと思います。

余談ですが、私は中央大学出身だったため、母校の駿河台記念館に1年間通えた事も、いい意味で自分の人生の振り返りにもなりました。

中大の校風は「質実剛健と家族的情味」と言われていますが、MMCの授業はまさにこれでした。

先生の皆様方には、毎回の授業や個人面談で親身に接していただきました。

特に中居先生には試験の前日や当日にも声をかけていただき、本試験も模試のような平常心で臨むことができました。

試験終了後は、もはや合否に関係なく、やりきった安堵感がありました。結果、無事に合格が伴って本当によかったです。

なお、前田先生にも勧められた、中大駿河台記念館の1階カフェのビーフカレーはなかなか美味しいです。

短時間で食べられることもあり、ほぼ毎週通っていました。

機会があれば、MMCの講義を思い出しながらまた食べに行きたいと思います。